

令和8年度（2026年度）電波媒体道政広報実施業務（道政広報特集番組・テレビ） 企画提案書作成要領

提出書類は、本作成要領の内容で、企画提案書（A4判縦）とする。

1 業務処理

（1）業務処理体制について

- ア 職種欄は、総括プロデューサー、コピーライター、デザイナー、カメラマンなど当該業務の処理に関わる人すべてを記載すること。ただし、営業のみを担当する人は除くこと。
- イ 担当者欄は、個人名が特定されないよう、A、Bなどアルファベット表記にすること。
- ウ 所属欄は、自社か外部発注かがわかるように表示し、具体的には「当社」「制作会社」などと表現して、個別の会社名は記載しないこと。
- エ 業務経歴は、北海道総合政策部知事室広報広聴課で発注した業務を除くこと。

（2）業務処理計画について

企画・制作・放送に係る一連の業務の流れを記入すること。

2 企画提案（番組の基本的な考え方）

次の事項について記入すること。

- ① 番組タイトル
- ② 番組MC、番組のコンセプト
- ③ 番組の基本構成（各番組共通）
インタビュー、対談、解説など番組の一連の流れを記入すること。
- ④ 仕様書に明示した制作方針に沿った創意工夫

3 番組シナリオ

放送内容のシナリオを作成すること。（主とする撮影地の提案を含む）

テーマは、「北方領土」とするので、これを題材に番組の基本的な考え方とシナリオを提案すること。

なお、可能な限り取材ロケを行い、道民が地域の情報を身近に感じることができる構成を提案すること。

- （1）出演者欄は、実写の出演者の区分（ナレーター、リポーター、インタビュアー、担当者など）を記載すること。
- （2）出演者の台詞や全体の流れなどを具体的に記載すること。

4 放送局、放送曜日、放送時間帯等

放送局、放送曜日、放送時間帯、番組平均世帯視聴率・個人視聴率（提案する放送時間と同一曜日、同一時間帯の令和7年（2025年）の年間（1月～12月）平均視聴率、（株）ビデオリサーチ調べ）を具体的に記入すること。

また、放送局、放送曜日、放送時間帯の考え方についても記載すること（視聴者が見やすい時間帯となっている理由等）。

5 番組の認知度向上及び二次利用等に係る提案

番組の認知度向上、動画広告、他媒体等との連携、二次利用等に係る提案を、具体的に記載すること。